

# 日赤県支部 救護班が出発

熊本地震の被災地に 護班が二十日、出発し  
向け、日赤県支部の救 した。二十二日から三日

間、熊本市内の避難所  
で住民の健康チェック  
に当たる。 救護班は、班長の加

藤雅康医師(四)や看護  
師、薬剤師ら高山赤十  
字病院の八人と、県支  
部の職員二人を合わせ



平成28年熊本地震災害義援金受付中

た十人態勢。  
加藤医師ら二人は二  
十一日に遅れて出発す  
るため、残りの八人が  
岐阜市茜部中島の県支  
部であった出発式に臨  
んだ。  
東日本大震災で救護  
活動の経験がある看護  
師の伊藤はるみさん  
(五)は「避難者は精神

的なストレスを感じて  
いると思うので、心の  
ケアに努めたい」と話  
した。  
この日は、県総合医  
療センター(岐阜市野  
一色)の医師や看護師  
ら五人でつくる医療救  
護班も現地へ出発し  
た。一週間程度、阿蘇  
市など四市町の避難所

や救護所で活動する。  
(近藤統義)